

令和元年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】配付申請書(選定校記載用)

(校園コード 562150 )

※校園コードを入力してください。

学校名 西中学校

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 200,000 円

2 自校の現状・課題(※小・中学校においては、学力課題に限定)

平成30年度の全国学力・学習状況調査では、国AB・数学ABとも大阪市平均は2～4ポイント上回っているが、全国平均は0.1～1.1ポイント下回っている調査結果であった。  
 家庭学習については、予習・復習を行っている生徒が49.5%という結果で、半数に満ちていない状態であり、家庭での学習習慣が定着していない。また、課題解決に向けて自ら考え取り組むことができる生徒が60.3%という結果が、全国平均を下回っていることを踏まえても、課題に対して主体的に考える力を育成していくことが本校の大きな課題となっている。課題解決に向けて、学習意欲を向上させていくための工夫を行うための環境整備に取り組んでいく必要がある。

3 年度目標(※小・中学校においては、学力向上の目標を記載すること)

今年度の中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※決算報告時に記載

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】  
 ICT機器(プロジェクター)の活用により、各教科授業での生徒の主体的な学びの構築を進め、課題解決に向けて自ら考え取り組む生徒の育成を進めていくために、授業理解に伴う学びの達成感の向上に取り組む。

5 年度目標に応じた事業効果を測る指標(期待する効果等)

学校評価アンケートにおいて、  
 ①「授業がわかりやすく、楽しい」に対する肯定的な回答を80%以上にする。  
 ②「先生は教え方をいろいろとわかりやすく工夫している」に対する肯定的な回答を85%以上にする。

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※決算報告時に記載

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 年間スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	購入手続き		ICT機器の活用、及び、教育環境の整備						
効果検証	■			■		■	■		■
	アンケートの実施			中間評価		アンケートの実施	チャレンジテスト		最終評価

取組

1

(校 園 コー ド 562150 )  
 学 校 名 西 中 学 校

7. 取組内容・予算内訳

<p>(1)取組内容【施策番号 施策名】  <b>【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</b>          ①各教科授業での学習において、ICT機器（プロジェクター）を活用し、生徒の学習意欲を向上させる。          ②学校評価アンケートにより、効果検証の分析を行う。</p>	<p>委員会使用欄</p>	<p>達成</p>
<p>予算内訳          ・プロジェクターマグネットスクリーンの購入          11-1 @25,000×8学級=200,000 合計200,000円</p>		
<p>期待される効果          ①ICT機器（プロジェクター）の活用により、生徒の学習意欲を向上させ、母集団全体でのチャレンジテストの正答率の向上につなげる。          ②学校評価アンケートの結果より、生徒の学習意欲の向上と教科授業での学力向上のための工夫を検証していくことで、チャレンジテストの正答率の向上につなげる。</p>		

(1)取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	購入手続き		ICT機器の活用、及び、教育環境の整備						
効果検証	■ アンケートの実施			■ 中間評価		■ アンケートの実施	■ チャレンジテスト	■ 最終評価	

(1)取組内容に対する中間報告

- スケジュールどおり実施できている。
  - スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。
  - スケジュールに大幅な遅れが出ている。(□他責・□自責)
- [大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

(1)取組内容に対する決算内訳

決算内訳

※決算報告時に記載

※取組内容はPCDAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。